

# 構造設計概要書

平成 年 月 日作成

構造担当者	設計事務所名							
	氏名		印					
	TEL	( )	-	FAX	( )	-		
	E-mail							

## 1. 建築物概要

1. 建築物概要										
建築場所										
建物用途					構造種別	S	造	階～	階	
						RC	造	階～	階	
階数	地上	階	塔屋	階		SRC	造	階～	階	
	地下	階				W	造	階～	階	
面積	建築面積								階～	階
	延床面積									
高さ等	軒高	GL+			工事種別		新築	増築	改築	移転
	最高の高さ	GL+					増築予定		大規模の修繕	
	基礎底	GL-			有	有の場合の増築予定の概要（増築方向と規模）				
	基礎の種別			無						

## 2. 構造概要

構造チェックリスト-1

項 目		適用条項	チ ェ ッ ク 項 目														
1	応力の組合せ	令82	長期の応力	G + P													
			短期の応力	G + P + S			G + P + W		G + P + K								
	特殊荷重	令83	高架水槽	キュービクル			クーリングタワー		広告塔								
			エレベーター	エスカレーター			その他 ( )										
	風圧力	令87 H12告1454	速度圧 $q = 0.6 \times E \times V_0^2$	地表面			I		II								
			$V_0 =$ 32 34 36	粗度区分			III		IV								
			※風圧力の低減	有 無			※風圧力の割増		有 無								
	地震力	令88 S55告1793	地震地域係数 $Z = 0.9$	建物の1次固有周期 $T =$ 秒													
地盤種別 第 種地盤			$T_c =$ 0.4 0.6 0.8														
振動特性係数 $R_t =$			標準せん断力係数 $C_o =$														
塔屋震度 $K =$			地下震度 $K =$														
用途係数 $U =$																	
積雪荷重	令86	垂直積雪量 ( ) cm															
土 圧	令83	擁壁に対し $K_A =$						地下外壁に対し $K_N =$									
水 圧	令83	設計採用水位 $GL -$ m															
2	コンクリート	令74 S56告1102 令91	普通コンクリート $F_c =$ N/mm <sup>2</sup>														
			普通コンクリート $F_c =$ N/mm <sup>2</sup>														
	鉄 筋	令90 H12告2464	SD- (D )														
			SD- (D )														
	鋼 材	令90 H12告2464	SS-			SMA-			STK-			冷間成形鋼					
			SM-			SN-			STKR-								
	集成材																
	ボルト	令90, H12告1451	高力ボルト F T						その他								
アーク溶接	令92, H12告2464	※現場溶接			有 無												
材料強度	令96, 97	J I S規格に適合						その他									
3	地盤の許容応力度	令93 H13告1113	地盤調査			無 有 ( )											
			荷重支持層の土質 ( ) $L_{fe} =$ kN/m <sup>2</sup>														
			地盤改良			無 有 ( )											
4	基礎	令38 H12告1347	独立			複合			杭			布			べた		
			偏心基礎			有 無											
			※異種基礎の併用						有 無		(原則として併用は避ける。)						
			※沈下に対する検討						有 無								
			※隣接建物に対する考慮						有 無								
5	杭の区分	令93 H13告1113	打込み			埋込み			場所打ち ( ) 工法								
			杭種			杭長 m			杭径 $\phi$								
	長期許容支持力 ~ kN/本																
	※杭の水平耐力の検討						有 無										
	※杭の保有耐力の検討						有 無										
	支持杭に作用する負の摩擦力の検討						有 無										
杭の耐力		※認定書						有 無									

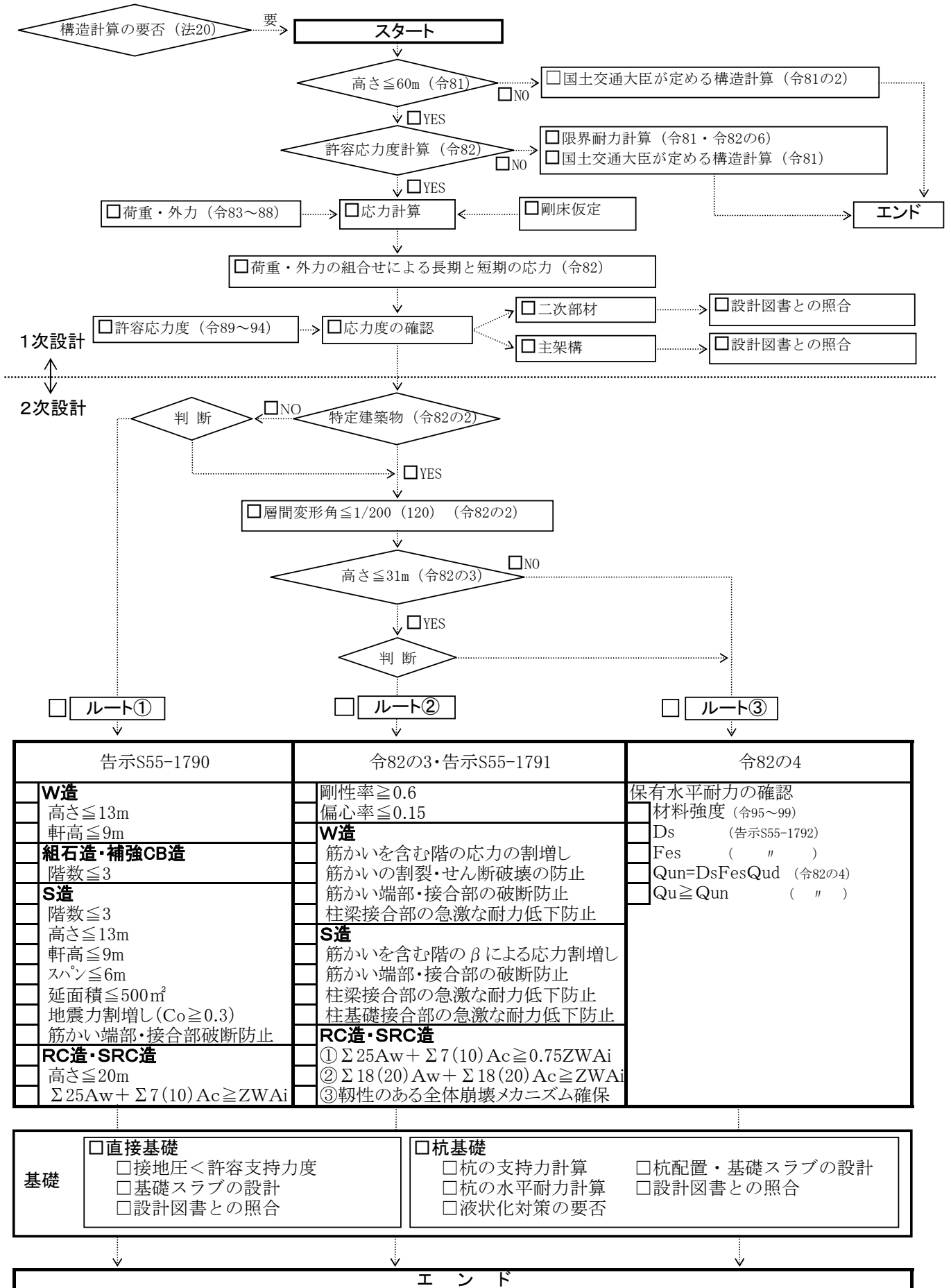
- 必要箇所に記入して下さい。また選択式のものは、該当する項目に○印を記入して下さい。
- ※印の部分については、その内容を構造計算書に明記してください。

構造チェックリスト-2

項目		適用条項	チェック項目							
6	計算ルート判定	令81~令82の4 S55告1790~1793	大臣認定	X方向	ルート1	ルート2	ルート3			
			限界耐力計算	Y方向	ルート1	ルート2	ルート3			
7	架構形式		X方向 ( )				Y方向 ( )			
			スパン ~				スパン ~			
			※異種構造との複合				無	有 ( )		
	計算仮定	令66 H12告1456	柱脚の固定度	固定	半固定	ピン接合				
			※剛床仮定	有	無 ( )				既製品	
	特殊構造									
	構造計算	エキスパンションジョイント	令81	※エキスパンションジョイント	有	無				
				基礎	一体	別				
	水平力の配分			精算法	D値法	その他 ( )				
	剛性の確保	令36	※床梁の変形計算		有	無				
※床梁の振動計算			有	無						
※塔状建築物			YES	NO						
壁の評価 ( )										
建物のバランス	令82の2 令82の3	層間変形角の最大値 ( ) ≤ 1/200 (緩和 1/150 1/120 )								
		剛性率の最小値 Rs=( )				偏心率の最大値 Re=( )				
8	解析ソフト		プログラム名 ( )							
			ルート判定	応力解析	断面算定	二次設計				
	解析方法	令82	鉛直荷重時 ( ) 法							
			水平荷重時 ( ) 法							
	保有水平耐力の計算	令82の4	特記事項							
Qu/Qunの最小値			Qu	Qun	Ds	Fes				
X										
Y										
限界耐力計算	令82の6									
9	二次部材の応力計算		プログラム名 ( )							
			床版	小梁	片持梁	階段	庇			
			母屋	胴縁	間柱					
10	鉄筋コンクリート 鉄骨鉄筋コンクリート	令6節 令6節の2	配筋、かぶり厚さ、定着長さ等							
			接合方法	仕口	令67 H12告1464	ボルト	溶接	その他 ( )		
	※溶接と他接合法との併用					無	有 ( )			
	継手			ボルト	溶接	その他 ( )				
				※溶接と他接合法との併用		無	有 ( )			
	溶接施工	令92	溶接施工性の考慮		有	無	※現場検査			有
※現場溶接			有	無						
※検査実施			有	無						
11	図書の照合		構造計算書と構造図の照合							

1. 必要箇所に記入して下さい。また選択式のものは、該当する項目に○印を記入して下さい。
2. ※印の部分については、その内容を構造計算書に明記してください。

# 構造計算フロー



告示S55-1790	令82の3・告示S55-1791	令82の4
<b>W造</b> 高さ ≤ 13m 軒高 ≤ 9m	剛性率 ≥ 0.6 偏心率 ≤ 0.15	保有水平耐力の確認 材料強度 (令95~99)
<b>組石造・補強CB造</b> 階数 ≤ 3	<b>W造</b> 筋かいを含む階の応力の割増し 筋かいの割裂・せん断破壊の防止	<input type="checkbox"/> Ds (告示S55-1792)
<b>S造</b> 階数 ≤ 3 高さ ≤ 13m 軒高 ≤ 9m スパン ≤ 6m 延面積 ≤ 500㎡ 地震力割増し (C <sub>0</sub> ≥ 0.3) 筋かい端部・接合部破断防止	筋かい端部・接合部の破断防止 柱梁接合部の急激な耐力低下防止	<input type="checkbox"/> F <sub>es</sub> ( " )
<b>RC造・SRC造</b> 高さ ≤ 20m Σ 25A <sub>w</sub> + Σ 7(10) A <sub>c</sub> ≥ ZW <sub>Ai</sub>	<b>S造</b> 筋かいを含む階の β による応力割増し 筋かい端部・接合部の破断防止 柱梁接合部の急激な耐力低下防止 柱基礎接合部の急激な耐力低下防止	<input type="checkbox"/> Q <sub>un</sub> = D <sub>s</sub> F <sub>es</sub> Q <sub>ud</sub> (令82の4)
	<b>RC造・SRC造</b> ① Σ 25A <sub>w</sub> + Σ 7(10) A <sub>c</sub> ≥ 0.75ZW <sub>Ai</sub> ② Σ 18(20) A <sub>w</sub> + Σ 18(20) A <sub>c</sub> ≥ ZW <sub>Ai</sub> ③ 靱性のある全体崩壊メカニズム確保	<input type="checkbox"/> Q <sub>u</sub> ≥ Q <sub>un</sub> ( " )

<b>基礎</b>	<input type="checkbox"/> 直接基礎 <input type="checkbox"/> 接地圧 < 許容支持力度 <input type="checkbox"/> 基礎スラブの設計 <input type="checkbox"/> 設計図書との照合	<input type="checkbox"/> 杭基礎 <input type="checkbox"/> 杭の支持力計算 <input type="checkbox"/> 杭の水平耐力計算 <input type="checkbox"/> 液状化対策の要否	<input type="checkbox"/> 杭配置・基礎スラブの設計 <input type="checkbox"/> 設計図書との照合
	<input type="checkbox"/> エ ン ド		